

製品名: PDGF-B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15902**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	27kDa

抗原情報

遺伝子名	PDGFB PDGFB; PDGF2; SIS; Platelet-derived growth factor subunit B; PDGF subunit B; PDGF-2;
別名	Platelet-derived growth factor B chain; Platelet-derived growth factor beta polypeptide; Proto-oncogene c-Sis; Becaplermin
遺伝子 ID	5155.0
SwissProt ID	P01127
免疫原	抗血清はヒト PDGFB 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 16-65

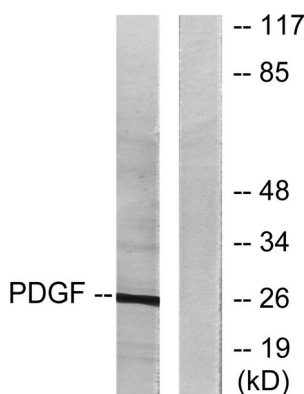
背景

血小板由来増殖因子サブユニット B (PDGFB) Homo sapiens この遺伝子は、血小板由来増殖因子 (PDGF) と血管内皮増殖因子 (VEGF) の両方から構成されるタンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解処理を受けて血小板由来増殖因子サブユニット B を生成します。このサブユニット B は、関連する血小板由来増殖因子サブユニット A とホモ二量体、あるいはヘテロ二量体を形成することができます。これらのタンパク質は、広範囲にわたる発生過程で役割を果たす PDGF 受容体チロシンキナーゼに結合して活性化します。この遺伝子の変異は髄膜腫に関連しています。この遺伝子および 1 型コラーゲン $\alpha 1$ の遺伝子が位置する 22 番染色体と 17 番染色体間の相互転座は、まれな皮膚腫瘍である隆起性皮膚線維肉腫に関連しています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2015 年 10 月]、疾患: PDGFB に関連する染色体異常は、隆起性皮膚線維肉腫 (DFSP) [MIM:607907]の原因である。COLA1 遺伝子の転座 t(17;22)(q22;q13)。DFSP は、真皮深層部および皮下組織に発生するまれな腫瘍であり、局所進行性ではあるものの、転移は稀である。典型的には成人期初期または中年期に発症し、体幹および四肢近位部に最も多く認められる。機能: 血小板由来成長因子 (PDGF) は、間葉系細胞に対する強力なマイトジェンである。この成長因子が親和性受容体に結合すると、様々な細胞応答が誘発される。創傷時に血小板から放出され、隣接細胞の成長を刺激して創傷を治癒する上で重要な役割を果たします。、その他:A-A、B-B、および A-B の二量体は PDGF 受容体に結合できます。、オンライン情報:Regranex の臨床情報、医薬品:Regranex (Ortho-McNeil) の名称で入手可能です。糖尿病性神経障害性足潰瘍の治癒を促進するために使用されます。、類似性:PDGF/VEGF 成長因子ファミリーに属します。、サブユニット:非同一鎖 (A 鎖および B 鎖) の逆平行ジスルフィド結合二量体。A 鎖および B 鎖のホモ二量体は形質転換プロセスに関与しています。XLKD1 と相互作用します。、組織特異性:心臓、脳 (黒質)、胎盤、胎児腎臓で高レベルで発現しています。脳 (海馬)、骨格筋、腎臓、肺に中程度のレベルで発現しています。

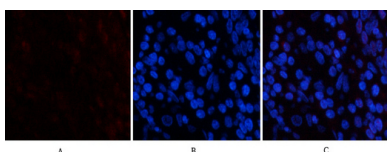
研究分野

MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein;サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;焦点接着;ギャップ結合;アクチンと細胞骨格の調節;癌における経路;腎細胞癌;神経膠腫;前立腺癌;黒色腫;

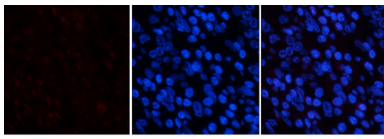
画像データ



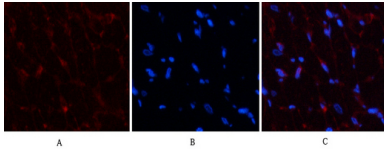
PDGFB 抗体を用いた NIH/3T3 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



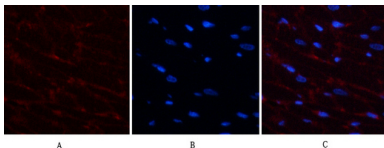
ヒト胃組織の免疫蛍光染色。1, PDGF-B ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



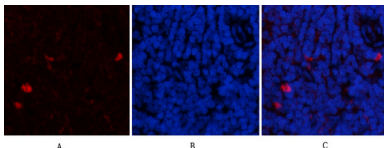
ヒト胃組織の免疫蛍光染色。1, PDGF-B ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



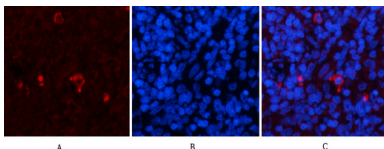
ラット心臓組織の免疫蛍光染色。1, PDGF-B ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



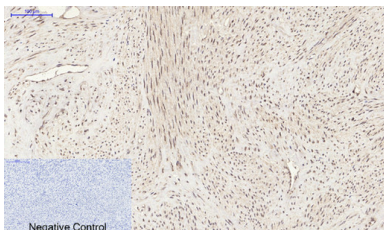
ラット心臓組織の免疫蛍光染色。1, PDGF-B ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



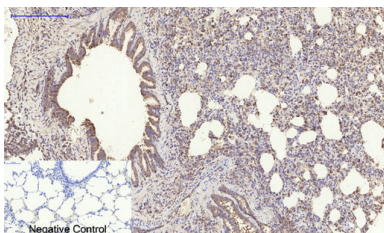
ラット脾臓組織の免疫蛍光染色。1, PDGF-B ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



ラット脾臓組織の免疫蛍光染色。1, PDGF-B ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



パラフィン包埋ヒト子宮組織の免疫組織化学染色。1. PDGF-B ポリクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



パラフィン包埋ラット肺組織の免疫組織化学染色。1. PDGF-B ポリクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。